

令和8年度 学校経営方針

令和8年（2026年）4月1日
国立市立国立第六小学校
校長 小畑 行 広

教育目標

○ よく考える子

◎ なかよく助け合う子
(◎令和8年度 重点目標)

○ 元気でたくましい子

教育活動スローガン

学校がどの子どもにも「その子らしく」いられる居場所となり、家庭・地域・学校が教育活動を協働し、推進する学校を目指す。

目指す児童像

基礎的・基本的な知識・技能の定着と習熟
学習や生活の中で共同して、よく考える子

集団生活中で相手を意識した思いやりの獲得
友達となかよくし、誰とでも助け合える子

前向きな学校生活による自己肯定感の向上
心も体も粘り強く、何事にも取り組める子

具体的な取組と方向性

目指す学習活動の取組

- ①基礎・基本的な学力の習熟による定着と向上
各教科の基礎的内容の取組(復習・音読・計算等)
- ②子どもの出番の多い学習活動
授業における発言の場の設定(説明・音読・板書等)
- ③教員のファシリテーター力の向上(校内研究を軸に)
生活科・総合的な学習の時間での主体的な活動
- ④各学年における教科担任制の推進(教員の専門性)
授業力の向上による楽しい授業の確立
- ⑤思考力・判断力・表現力の向上
【根拠】を明確にした判断と表現の仕方の学び

目指す人と人との関わりの取組

- ①多様性を知り、認め合える子どもの育成
交流や共同の中で、お互いを知る教育活動(特活等)
- ②年間の生活指導目標による関わりの力の定着
あいさつや言葉遣いの定着と主体性の育成
- ③各学級における子ども一人一人の居場所の創出
安心できる場所があり、仲間のいる学級・学年運営
- ④はばたき・フレンドのある学校としての普遍化
生活や学びの場の多様性の理解と安心感の向上
- ⑤子どもの意見を大切にした教育活動の推進
自分たちの思いや力が活かされた学校創り

目指す心と体の成長を意識した取組

- ①主体的な学級活動の実践による達成感の向上
学級の仲間と共に創り上げる取組の推進
- ②異学年の交流を活かした高学年への憧れの醸成
高学年の頑張る姿や心のたくましさを感じる活動
- ③学校行事に向けた前向きな学級・学年の目標設定
自分たちの力で頑張りぬく場の設定と達成感
- ④地域の協力による様々な場面での肯定的評価
様々な支援の場での子どもを認める言葉と関わり
- ⑤キャリア教育として未来の自分を見通す機会の提供
未来に夢や希望をもてる多くの場の設定

～校内に流れる矢川と自然環境豊かな地域と共に新たな学校環境を創り出すためのコミュニティ・スクール2年目～

【教育公務員の自覚と誇り】 六小の教員としての言動の意識化	【保護者・地域と共に児童を育てる】 適切な情報発信と信頼の構築	【安心・安全な学校創り】 リアルに基づく危機管理と不断の意識化	【特色ある教育活動の推進】 六小特色制と地域学校協働活動の充実
【業務管理】 校務分掌の適材適所の人員配置	【健康確保措置】 メンターやアウトリーチの活用による教員のメンタルケア ストレッチを活用した働き方への対応	【働き方改革の見える化】 退勤目標時刻の設定とメリハリのある業務 教職員の時間外の在校平均時間の設定	【学校の未来像の共有化】 学校関係者による各年度の方針性の共有